



平成20年2月22日

各位

会社名 パシフィックシステム株式会社
代表者名 代表取締役社長 末武 信一
(JASDAQ・コード番号・3847)
問合せ先 取締役経営企画室長 小澤 文男
(TEL. 03-5847-4700)

平成20年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年11月15日付「平成20年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成20年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年3月期 通期連結業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	9,230	547	521	273	185.37円
今回修正 (B)	8,383	369	353	175	119.24円
増減額 (B-A)	△847	△178	△168	△98	—
増減率 (%)	△9.1	△32.5	△32.3	△35.8	—
(参考) 前期実績	7,799	449	442	258	187.47円

2. 平成20年3月期 通期個別業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,594	340	353	178	121.24円
今回修正 (B)	6,349	251	267	129	87.98円
増減額 (B-A)	△245	△89	△86	△49	—
増減率 (%)	△3.7	△26.2	△24.3	△27.6	—
(参考) 前期実績	6,671	329	341	199	144.66円

3. 修正の主な理由

平成18年後半から引き続いている原油価格・素材価格の高騰や米国のサブプライムローン問題の影響を受けて、平成20年年明けから急激に株安・円高が強まり、一部の産業を除き、IT投資に対して慎重な動きが出てきております。

このような経済環境下において、当社連結業績修正となる理由は以下の通りであります。

売上高に関しては、コールセンター体型戦略営業システムや今期新たに上市したPerfect STEEL (中小コイルセンター向けパッケージ) 等の自社開発システムが、顧客側の投資に対する慎重さから、引合いは多くあるものの受注に至るまでの期間が長くなってきております。またソフトウェア開発における着手遅延による売上の翌期ズレが生じております。さらに改正建築基準法施行後の混乱を受けた生コンクリート業界向

けシステム商品の受注延期等が生じました。これらの要因により、減収を見込んでおります。

営業利益、経常利益、当期純利益に関しては、販管費を始めとした経費圧縮を図っておりますが、売上減少に加えて、一部ソフトウェア開発における製造原価高（当初の作業見積もりの甘さによる作業増）等による粗利率の低下、及び新規ERPパッケージビジネス要員の教育投資を増加し開発体制の強化を図っていることによる費用増があり、減益を見込んでおります。

また個別業績については、上記連結業績と同様の理由で、減収減益を見込んでおります。

これらの結果、連結売上高の予想を 8,383 百万円（前回予想比 9.1%減）、営業利益の予想を 369 百万円（前回予想比 32.5%減）、経常利益の予想を 353 百万円（前回予想比 32.3%減）、当期純利益の予想を 175 百万円（前回予想比 35.8%減）に修正いたします。

個別業績におきましても連結業績と同傾向にあり、売上高の予想を 6,349 百万円（前回予想比 3.7%減）、営業利益の予想を 251 百万円（前回予想比 26.2%減）、経常利益の予想を 267 百万円（前回予想比 24.3%減）、当期純利益の予想を 129 百万円（前回予想比 27.6%減）に修正いたします。

（注）上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上